

Excel のマメ知識

2018年 4月28日 河出 修

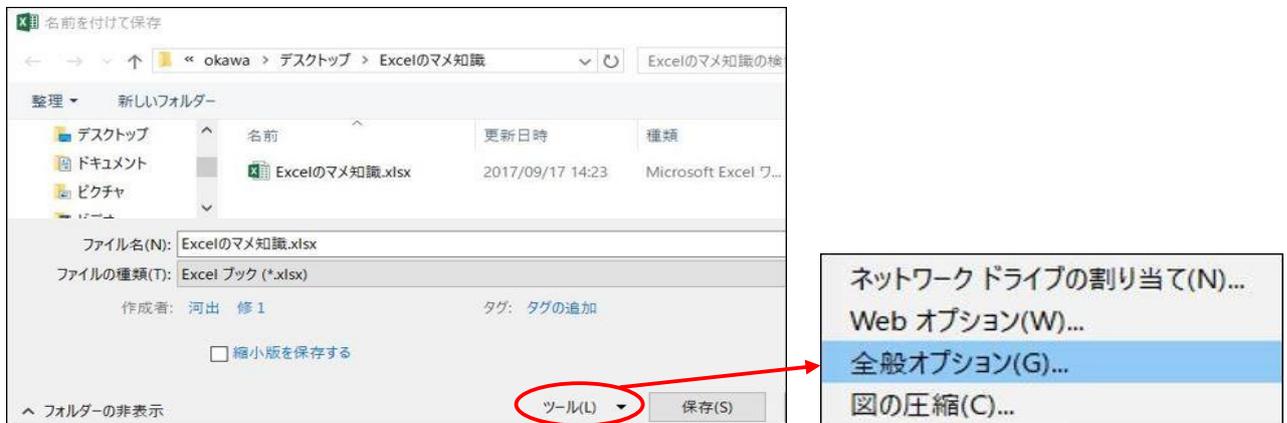
1. 「Excel」のファンクションキー

ファンクションキー	機 能
「F1」	ヘルプ表示。
「F2」	アクティブセル内容の最後にカーソルを配置。
「F3」	[名前の貼り付け] ダイアログ表示。
「F4」	直前コマンドor操作繰返し。 数式内セル名選択中は絶対/相対参照の組合せ切替え。
「F5」	[ジャンプ] ダイアログ表示。
「F6」	ワークシート、リボン、作業ウィンドウ、ズームコントロール間で移動。
「F7」	スペルチェック。
「F8」	拡張選択モード切替え。
「F9」	開いているブックの全ワークシートを計算。
「F10」	キーヒントのオン/オフ。
「F11」	現在の範囲からグラフ作成。
「F12」	[名前を付けて保存] ダイアログ表示。

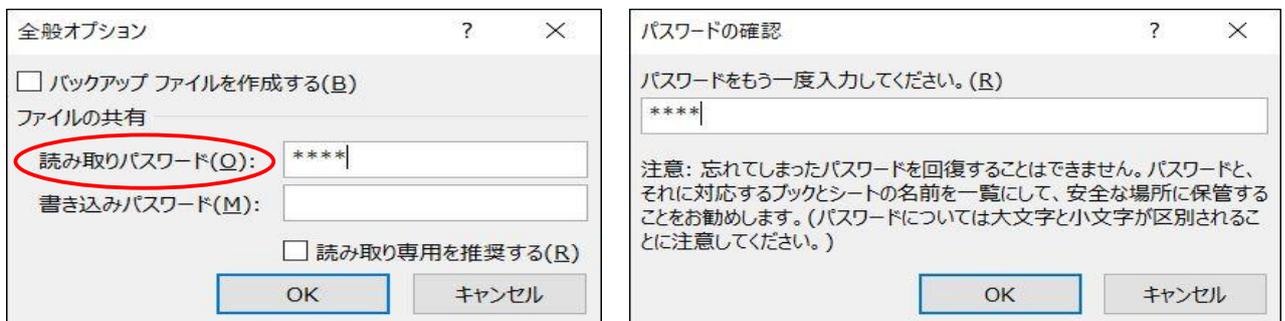
2. 「パスワード」の設定方法

(1)「Excelファイルを開く」 → 「ファイル」 → 「名前を付けて保存」を押す。
保存場所は「現在のフォルダー」(デスクトップ)を指定する。

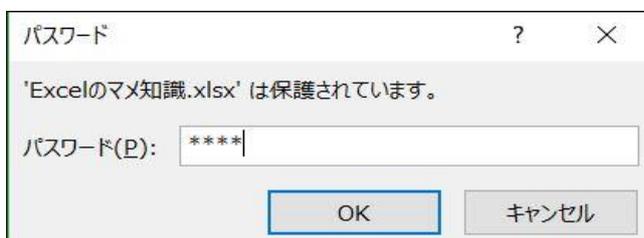
(2)「ファイル名」を指定し → 「ツール」 → 「全般オプション」をクリック



(3)「読み取りパスワード」を入力し → 「OK」ボタンを押す → 「パスワード」確認画面が表示される
→ 「パスワード」を再入力し → 「OK」ボタンを押す → 「保存」ボタンを押す (以上で完了)



(4)パスワード設定済みファイルを開くときは、下記画面に「パスワード」を入力し、 → 「OK」ボタンを押す



3. 「ページレイアウト」の設定方法

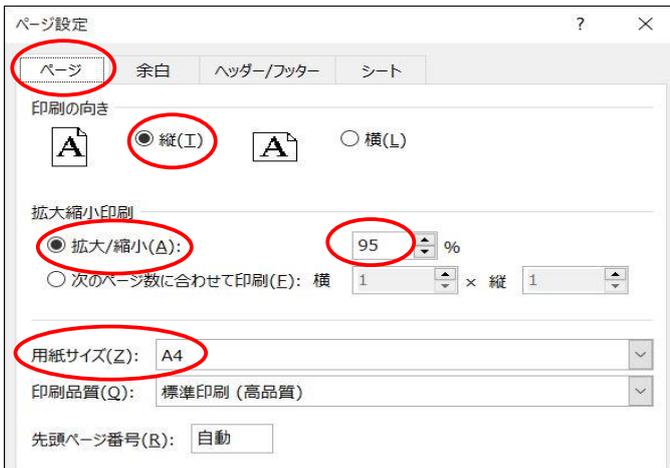
(1) ページ設定画面の表示方法



- 「ページレイアウト」タブをクリックする。
- 「ページ設定」の右端をクリックすると「ページ設定画面」が表示される。

(2) 「ページ」の設定方法

- 「ページ」タブを開き、「印刷の向き」「拡大縮小印刷」「用紙サイズ」等を設定する。

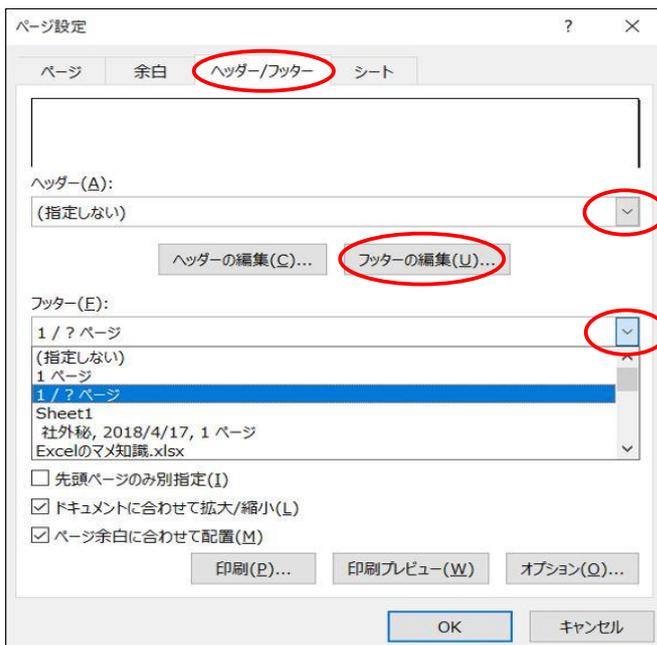


(3) 「余白」の設定方法

- 「余白」タブを開き、上下左右の余白を設定する。「ページ番号」を表示する場合は、フッター位置も指定する。



(4) 「ヘッダー/フッター」の設定方法

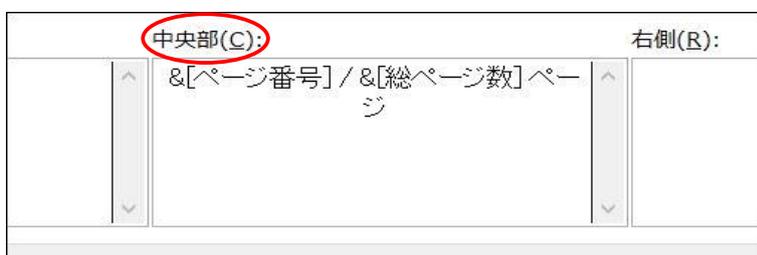


①「ヘッダー」の設定

- 「ヘッダー」の右端をクリックすると表示内容を選択できる。
- 今回は「(指定しない)」を選択する。

②「フッター」の設定

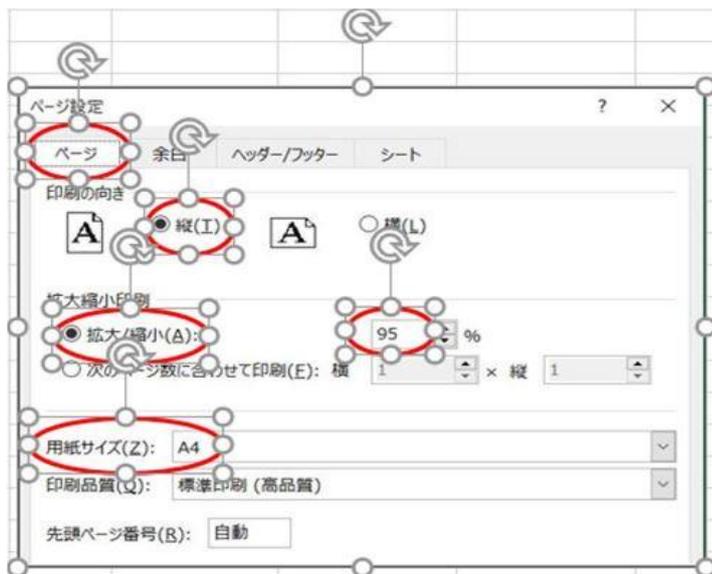
- 「フッター」の右端をクリックして「1/? ページ」を選ぶ。(ページ番号/総ページ数)
- 「フッターの編集」ボタンを押す



- 「フッターの編集画面」が表示される。
- 「フッターの表示位置」は「左側」「中央部」「右側」から選ぶ。今回は「中央部」に設定。
- 「OK」ボタンを押す。→「ページ設定画面」に戻り、「OK」ボタンを押して、完了。

4. 「画像のグループ化」の設定方法

- 「画像」の上に「図形」を重ねる場合がありますが、その画像を一緒に移動できれば便利です。
- 個別の画像を「グループ化」すれば、画像を一緒に移動することができる。



- 「ページ設定」画面に楕円図形を重ねる。
- 「Ctrl」キーを押しながら、各図形をクリックする。
- 「左図」のような状態で、右クリックすると下図のメニューが表示される。



- 上図の「グループ化」 → 「グループ化」をクリックする。
- 左図のように「グループ化」された画像になる。(一つにまとめられた画像)
- 「グループ化」された画像は、一つの画像として、コピー、貼り付け、移動等ができる。
- 「グループ化」された画像は、元の画像に戻すことができる。(グループ解除)

5. 「Excel」表のアドレス参照について

★売上集計表

商品	単価	数量	金額	構成比(%)
A	100	15	1,500	4
B	200	20	4,000	11
C	300	25	7,500	21
D	400	30	12,000	34
E	500	20	10,000	29
合計		110	35,000	100

- 金額=単価*数量
(=C179*D179)
(C179、D179 は相対アドレス)
- 構成比(%)=金額/金額合計*100
(=E179/\$E\$184*100)
(金額合計 \$E\$184 は絶対アドレス)

(1)セル参照の種類

- セル参照には、「相対参照」「絶対参照」「複合参照」の3種類がある。
- 相対参照 : 数式をコピーしたとき、コピー先でそのセル範囲に合わせて行番号と列番号を変化させる。
- 絶対参照 : 行・列ともに固定させる参照方法。
- 複合参照 : 行と列の一方を変化、他方を固定にする複合型の参照方法。
- 絶対行参照 : 複合参照の中でも、行だけを固定する方法。
- 絶対列参照 : 複合参照の中でも、列だけを固定する方法。
- 行番号、列番号を固定させるには、セル番地の行番号、列番号の前に「\$」(ドル記号)を付ける
- 「F4」キーを押すと簡単に入力出来ます。「F4」キーを押すごとに、次のように変化する。
- \$A\$1(絶対参照) → A\$1(絶対行参照) → \$A1(絶対列参照) → A1(相対参照)

(2)他シートのセル参照

- 他のシートのセル参照には、「シート名」+「セル番地」が必要。
- 「Sheet2!A1」 → 「Sheet2」の「A1」番地。(シート名の後に「!」を付ける)